

中小・地場組合 交渉促進ニュース No.1

発行：日本労働組合総連合会 新潟県連合会
〒950-8558 新潟市中央区新光町6-2 勤労福祉会館内 TEL 025-281-7555/FAX 025-281-7556
発行人：牧野 茂夫 編集人：桑原 典子



みんなの春闘 誰もが希望を持てる社会を！ 安心・安全に働ける環境整備と「底上げ」「底支え」「格差是正」で

2021 春季生活闘争 連合新潟要求および回答・妥結集計状況 (4月2日公表)

- 回答を引き出した組合の定昇相当込み賃上げ加重平均は、平均賃金方式で5,248円・1.95% (昨年同時期比97円減・0.001ポイント減) で、300人未満の中小組合は5,084円・2.01% (同238円減・0.15ポイント減) となった。
- 賃上げ(ベースアップ)は、賃上げ分が明確に分かる組合の加重平均で1,242円 (昨年同時期比443円増) と、分配構造の転換につながり得る賃上げの流れを維持している。

■ 定昇相当込み賃上げ集計 (集計組合員数による加重平均)

※ 同じ組合比較ではない

回答・妥結	集計組合		2021年回答・妥結 (3月30日集計)		前年同時期比較	
	組合数	組合員数	金額	率	金額	率
計	30	15,475	5,248	1.95	△ 97	△ 0.001
300人未満	14	2,042	5,084	2.01	△ 238	△ 0.15
99人以下	8	862	6,235	2.55	△ 48	△ 0.06
100~299人	6	1,180	4,243	1.61	△ 378	△ 0.22
300人以上	16	13,433	5,273	1.95	△ 75	0.02
300~999人	11	4,483	4,513	1.65	151	0.08
1000人以上	5	8,950	5,653	2.09	△ 189	△ 0.01

要求	集計組合		2021年要求 (3月30日集計)	
	組合数	組合員数	金額	率
計	95	31,253	8,159	3.19
300人未満	63	9,897	8,068	3.38
300人以上	32	21,356	8,202	3.10

前年同時期比較 404円減 0.26ポイント減※

■ ベースアップ分 (集計組合員数による加重平均)

	要求 (組合数)	回答・妥結額 (組合数)	昨年同時期回答・妥結額
計	4,365円 (76組合)	1,242円 (16組合)	799円 (21組合)
300人未満	3,877円 (52組合)	1,406円 (10組合)	947円 (10組合)
300人以上	4,619円 (24組合)	1,195円 (6組合)	781円 (11組合)

■ 一時金集計 (集計組合員数による加重平均)

回答・妥結	金額	組合数	組合員数	金額	昨年同時期比較
			20	13,153	1,168,963
回答・妥結	月数	組合数	組合員数	月数	昨年同時期比較
		25	18,139	4.15	△ 0.02

要求	金額	組合数	組合員数	金額
			41	15,776
要求	月数	組合数	組合員数	月数
		78	26,520	4.53

連合新潟2021春季生活闘争 妥結ミニマム基準額を設定！

賃金カーブ維持相当分4,500円と 賃金改善分500円をあわせ 5,000円以上の賃金引き上げをめざす

3月25日、連合新潟は「妥結ミニマム基準」の設定会議を開き、妥結ミニマム基準を5,000円以上とすることを確認しました。

連合新潟の妥結ミニマム基準額は、交渉組合の1つの指標的役割と県内地場形成、さらには未組織労働者を抱える企業へ波及させることが狙いでもあります。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、社会経済の厳しい状況は認識しつつも、日本経済の自律的成長に向け中長期的に取り組んできた流れを止めないことが重要として、それぞれの構成組織・加盟組合が交渉を行っているところです。あらゆる戦術を駆使し、賃金改善がはかれるよう、引き続き各構成組織・加盟組合の取り組みをよろしく願いいたします。

Action!
36

■「春季生活闘争勝利！中小・地場総決起集会」を新発田市で開催

下越地協の協力のもと、3月27日(土)に2年ぶりとなる中小・地場総決起集会を開催しました。牧野会長の激励あいさつのほか、参加者の代表として、日教組、電力総連、JEC連合の3組織が現状報告と、取り組みの決意を表明。その様子は、YouTube「連合新潟TV」にアップしています。ぜひご覧ください。



中小・地場総決起集会

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、多くの人が集まることが困難な状況ですが、やはり顔を合わせることで、直接話を聴くことには大きな意味があります。感染防止のために人数を制限したこの集会の参加者は、総勢102人。集会を通じて、参加組合と組合員の団結を強くするとともに、企業規模の大小や民間・公務を問わず、安心・安全な生活のために、将来につながる成果を勝ち取り、それを組合のない会社や社会に波及させていかなければならないことを確認し合いました。

■ 会長による加盟組合訪問

今年も佐渡、県央、柏崎、上越地域で18の加盟組合を牧野会長と副事務局長が訪問し、春季生活闘争の取り組みや情報交換、意見交換を行いました。企業や組合、また働き方の問題や悩みだけでなく、業種や地域の問題なども聴かせていただき、現場で直接話をしたからこそ見えたもの、知り得たものも多く、加盟組合訪問の意義を再確認しました。加盟組合の声は連合新潟の政策にも反映させていきます。



理研機械労組では会社側からも出席いただき情報交換を行いました

会長激励あいさつ

厳しい環境下にあっても賃上げの流れを止めるな 連合新潟 会長 牧野茂夫

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、社会経済活動の抑制が長期化する中において、すでに様々な業種・業態で極めて大きな影響が生じており、私たち働く者の環境は依然と厳しい状況にある。このような環境下で2021春季生活闘争は、引き続き生産性三原則（労使協議・公正分配・雇用拡大）にもとづいた「賃上げ」「働き方の見直し」を求めるとともに、働き方も含めた「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」に一体的に取り組んでいる。

経営側は、感染症対策と経済の自立的成長を両立していくための大前提に「雇用の確保」を据えているほか、職場の基盤整備の重要性を指摘するなど、基本的な考え方について方向性が一致している点が多いとしながらも、賃上げ環境は例年と大きく異なるとの認識の下で「定期昇給相当分の確保」を大前提とした一方、「2%程度の賃上げ（ベア）」を目標に掲げていることは、事業継続と雇用維持に努める多くの企業で共感や理解が得られにくいと懸念している。

しかし、我々は、ここ数年の賃上げと労働条件の維持・向上の流れを継続するものであり、新型コロナウイルス感染症の影響で交渉環境に幅がある中でも、これまでの組合員の努力に最大限報いるとともに、経済・社会の将来を見据えた労使の責任を重く受け止めた結果であると認識している。そしてすべての働く者への「人への投資」を実現し、分配構造を転換していくことが重要となる。連合新潟は、これから本格化する中小組合の交渉を、構成組織・地域協議会と一体となってサポートしていく。また、公務職場における、財政悪化に端を発した臨時的賃金削減の早期終了、人員増による時間外勤務縮減、業務削減による長時間労働の是正、取得しやすい休暇制度の充実など、山積する課題も忘れてはならない。

先行する組合が引き出した回答内容は、要求との隔たりはあるものの、ここ数年の賃上げの流れを引き継いだものであり、ギリギリまで協議・交渉を積み重ねた結果である。引き続き交渉中の組合は早期決着にむけて、積極的かつ前向きな回答を引き出していただき、県内のすべての働く者の賃金引き上げに波及させなければならない。